

犬猫問題 伝えていく

いっしょに読もう！ 橋本君(宝永小5年)ら表彰 新聞コンクール



家族や友人と新聞記事を読んで意見をまとめる第9回「いっしょに読もう！新聞コンクール」の表彰式が15日、横浜市の日本新聞博物館であり、福井市宝永小5年の橋本君(11)ら小中高各部門の最優秀受賞者に賞状と盾が贈られた。犬猫の大量繁殖場「子犬工場」問題を解説する福井新聞の記事をもとに命の大切さをつづった橋本君は「(記事を読んで)犬猫が狭いケージに閉じ込められていると知り、心が痛いなど思った」と述べ、今後問題について広く伝えていきたいとい



「動物虐待について訴える杉本彩さんみたいに講演できたら」と話す橋本君＝15日、横浜市の日本新聞博物館

う気持ちを表した。
【4面に関連記事】
県内から最優秀賞に選ばれたのは初めて。橋本君は受賞が決まった後、「朝礼で校長先生に紹介されたり、みんなから『すごいねー』と言われたりした」という。記事の中

で命の大切さを訴えていた女優杉本彩さんの福井講演に行くなど、その活動を目の当たりにして「僕も杉本さんみたいに講演できたらいいな」と夢を膨らませた。
審査委員長の小原友行・日本NIE学会前会長は「最優

秀賞は重いテーマを取り上げながら好奇心、勇気、挑戦があり、審査員に大きな感動を与えた」と講評した。
中学部門の名古屋市志段味中3年、道源琴乃さん(15)は亡くなった子供をおなかに残したまま働かされた女性の声を取り上げた記事をきっかけに、根強い女性蔑視の問題について考察した。高校部門の埼玉県川越女子高1年、小椋由貴さん(15)は「行き過ぎ広

告(ご注意)の記事から、情報の発信者と受け手双方の在り方を訴えた。
コンクールは、NIE(教育に新聞を)活動を知ってもらおうと日本新聞協会が主催。応募総数は5万2155点で、県内は24小中高から1337点が寄せられた。小中高校生から各1点の最優秀賞のほか、優秀賞30点、奨励賞120点などを選んだ。
(近藤洋平)